

柏木ビジョン

2025 .6. 19
新宿区立
柏木小学校
実践通信
第 4 号

家庭科 ソーイング はじめの一步 Y.A. 教諭

玉結びと玉留め

「それでは、今日は、きれいでほどけない玉留めの学習をしていきましょう」(教)
針に糸を通すところから、まずは動画で確認です。
「糸の長さは、自分の腕の長さね。針に糸を通します。次に玉結びをします」(教)
「前回できないことができるようになった」(子)
「家庭科って楽しいよね」(子)
つぶやく子どもの声に、今日の授業は、順風満帆だなと安心しましたが、後に…



糸通しは ラクラク

強敵現れる 玉留め

「では、次に玉留めというのを教えます」(教)
まずは口頭、次に写真と動画を使ってY.A. 教諭が説明をします。
「わからなかった、もう一回見たいよという人は、タブレットで動画を見ながらしてもいいですよ」(教)
最後に、Y.A. 教諭が、実演をして玉留めを見せます。いとも簡単そうに玉留めをしてみせると、子どもから「ウォー」という歓声があがります。
「では実際にやってみましょう」(教)



あっ、糸ぬけちゃった

「ねえ、この後どうするんだっけ？」(子)
「1回、2回、3回回して、針を抜くと、あれ、どこいった？」(子)



この後糸をぬいて…

悪戦苦闘



うまくいなくて四苦八苦している子に、手をかすのはY.A. 教諭、それだけでなく、この日は学校公開であったため、何人かの保護者もお手伝い指導サポートをしていました。

なかなかうまくいかない子の中には、自分のタブレットで動画を見返して確認する子もいます。

「もう一回実演みたい子いますか？」(教)
多くの手が上がります。
「ちかくによって、見せますよ」

阿鼻叫喚とまではいかなかったも、1時間の授業であったとはいえ、久しぶりのできないことに、子どもたちの多くは悶絶していました。

「だいじょうぶです。また次の時間にじっくりしようね」(教)



よく見ていてね

むずかしかった？

授業後子どもたちに聞きました。「どうでした？」

「できない」

「むずかしかった」

という子どもたち。「どこがむずかしかった？」かを聞いてみると、

「針を糸に巻いたときにずれてしまった」

「全然できない」

というような子たちの他に、

「思い通りできました」

という子も。

家庭科に限ったことではありませんが、学習の「できる」は、経験値によるものも大きく、日常生活ではほとんど見ることもなくなった針と糸は、子どもたちにとっては異文化なのです。見よう見まねという言葉がありますが、見る機会もほとんどない道具を用いての学習は、新鮮かつ見た目以上に難しかったことでしょう。ちなみに、その後も授業を重ねて、少しずつ上達していったそうです。